

日本健康心理学会メールマガジン No.42



2016年1月22日 第42号

Contents

- 1) 学会からのお知らせ
- 2) 健康心理学コラムvol.37 関西大学 佐藤寛先生

1) 学会からのお知らせ <http://jahp.wdc-jp.com/>

■認知機能測定者募集〈急募〉(健康心理士会関西支部より)
高齢者を対象とする奈良県立医科大学地域健康医学教室の疫学調査におけるMMS Eを用いた認知機能測定者(健康心理士)を募集いたします。
詳しくは <http://jahp.wdc-jp.com/news/news.html>

■「保健と健康の心理学」シリーズ(15巻)刊行について (記念出版実行委員会より)
本委員会では「保健と健康の心理学」シリーズ(15巻)を企画しています。
それに先行して、第15巻「心理職のための法律と倫理」(山崎久美子・津田彰・島井哲志編)を刊行するべく進めています。
今後、ご期待ください。

■研究部会制度への改正について (研究推進委員会より)
本学会の研究活動がますます盛んになることをめざして、平井啓副委員長を中心に来年度から、より効果的な研究部会制度への改正について検討しています。
詳細は、近日中にお知らせできると思います。

■第101回・102回 健康心理学研修会のご案内 (研修委員会より)
第101回健康心理学研修会：3月19日(土) 13時-16時10分 会場：文化学園大学
「健康寿命の延伸と身体活動・運動」
講師：安永明智先生(文化学園大学現代文化学部応用健康心理学科・准教授)

第102回健康心理学研修会：3月26日(土) 13時-16時10分 会場：文化学園大学
「企業におけるストレスチェックの義務化とストレス対処」
講師：野口京子先生(文化学園大学現代文化学部応用健康心理学科・教授)
佐藤浩信先生(文化学園大学現代文化学部応用健康心理学科・准教授)

会場：文化学園大学 (渋谷区代々木3-22-1)
<http://bwu.bunka.ac.jp/access/>

詳細は、今後健康心理学会ホームページにて掲載予定です。
<http://jahp.wdc-jp.com/kensyu/kensyu2.html>

■日本健康心理学会第29回大会(岡山) 特別講演情報 (第29回大会準備委員会より)
自分の立脚する地域(ローカル)と海外の特定の人や場所(ローカル)が直接つながれば、点と点の関係で身近かつグローバルな関わりが育まれていきます。
今回、このことを体現されているAMDA(Association of Medical Doctors of Asia:本部 岡山市)の方にお越しいただき、特別講演を開催します。
是非、お楽しみに!

【AMDAとは?】

1984年に「多様性の共存」の実現をめざし、菅波茂医師により設立された民間団体です。
2006年、国連経済社会理事会から日本のNPOとして初の「総合協議資格」を得ました。
67の国と地域で170件を超える事業を実践し、多様性の共存実現のために最も大切なコンセプト、「相互扶助」の精神を活動の軸に、世界で活動しています。
AMDA: <http://amda.or.jp/gpsp.html>

第29回大会URL: <http://jahp.wdc-jp.com/conf/29th/>

2) 健康心理学コラムvol.37

「人を対象とする心理学系研究に関する倫理」 (関西大学社会学部 佐藤寛先生)

心理学分野でも人を対象とする研究倫理の問題を厳しく指摘される機会が増えてきました。
論文審査等でも倫理委員会の審査の有無など、倫理的配慮について問われることが一般的になっています。

わが国では「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」が制定され、この指針に基づいて心理学系の倫理審査を実施する機関もあります。
一方で、医学系の指針を心理学系の研究にそのまま適用するのは難しいという声も耳にします。

国外に目を移すと、心理学における「人を対象とした研究倫理」はある程度確立されたトピックです。
国際的に標準化された研究倫理教育プログラムであるCollaborative Institutional Training Initiative (CITI) では、医学領域向けのプログラムと心理学領域向けのプログラムは別に設けられています。
医学領域向けの研究倫理に比べて、心理学領域における研究倫理の国際標準は日本ではあまり知られていません。

標準化された研究倫理指針に基づかず倫理審査を行うと、個人の思想信条が反映されやすくなり、委員会構成メンバーによって同じ研究でも審査結果がばらつくなどの問題が生じます。
これは結果的に研究の停滞を招く事態であり、国際的に標準化された研究倫理がわが国の心理学分野に普及することを強く願っています。

【関連文献】

Hicks, L. (2014). Human Subjects Research (HSR): Guide for social, behavioral, and educational research. The CITI Program at the University of Miami.-

日本健康心理学会広報委員会
<http://jahp-public.blogspot.jp/>

メールマガジンの配信停止、アドレス変更については下記アドレスまで。日本健康心理学会事務局 <jahp-post@bunken.co.jp>

メールマガジンへのご意見・ご感想については下記アドレスまで。広報委員会 <jahp-ML@bunken.co.jp>

過去のメールマガジンは、こちらからご覧いただけます
<http://jahp.wdc-jp.com/health/health1.html>